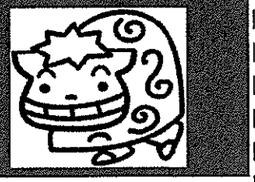
地域安全ニュース　令和3年新春号　第286号
発行者　袖ケ浦市防犯協会
木更津警察署生活安全課内　電話0438(23)8231

ふれあい



市民一人ひとりが身近な防犯活動を

袖ケ浦市防犯協会
会長（市長）粕谷　智浩

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より、当協会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様のご協力のおかげで市内の犯罪発生件数は年々減少傾向にあります。昨年10月時点の刑法犯認知件数は207件であり、その前年10月時点と比較すると80件の減少となりました。これは、新型コロナウィルス感染症の影響により人々が外出を自粛したことによる影響もあったかと思いますが、防犯活動団体をはじめとした各団体の方々のご協力による地道な啓発活動と、市民の皆様一人ひとりが防犯意識を高めていただいた成果ではないかと考えております。

一方で、キャッシュカード交付型詐欺や市の職員を騙っての医療費還付金詐欺、特別定額給付金の偽サイトを装ったメール等による詐欺が発生するなど、いわゆる電話de詐欺の手口が巧妙化してきています。

これらの詐欺による被害を未然に防止するため、引き続き生活安全メールや広報無線、防犯啓発チラシ等で注意を呼びかけてまいりますが、自分は大丈夫だと過信せず、詐欺被害に遭わないよう充分ご注意いただくとともに、周囲の方々への啓発についてもご協力をお願いいたします。

当協会は、構成団体である自治連絡協議会・地域の事業者組織・防犯指導員協議会や自主防犯組織と協力し、犯罪が1件でも減少するよう未然防止に努め、「防犯パトロール」や街頭での「啓発活動」、各地区で実施する「防犯教室」等を本年も継続して実施するとともに、犯罪発生状況をまとめた地図を掲載した地域安全ニュース「ふれあい」により、市民の皆様へ定期的に情報提供を行ってまいります。

また、市では昨年度に引き続き犯罪の発生抑止を目的として、街頭防犯カメラを2箇所4基設置し、合計12箇所22基を本年3月末までに稼働させる予定です。しかしながら、犯罪を防ぐために最も重要なことは、市民の皆様一人ひとりが犯罪に対する知識と防犯意識を持ち、身近な防犯活動に取り組むことです。ご近所の方とあいさつを交わすことや、門灯や玄関灯を点灯させ周囲を明るくして犯罪者を寄せ付けないようにするなど、できることを一つでも多く実施することが大切です。

新型コロナウィルス感染症により人々の暮らしが大きく変化しているなか、犯罪の発生を抑止していくためには、より一層地域社会が一体となって安全の確保に取り組んでいく必要がありますので、今後とも各種防犯活動に対して更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年一年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

1月の移動交番開設予定表

日(曜日)	場所	時間
1月 4日(月)	袖ケ浦公園	13:30~15:00
1月 6日(水)	平川公民館	13:30~15:00
1月 8日(金)	臨海スポーツセンター	13:30~15:00
1月 11日(月)	袖ケ浦市民会館	13:30~15:00
1月 12日(火)	長浦公民館	13:30~15:00
1月 23日(土)	平川公民館	13:30~15:00
1月 24日(日)	袖ケ浦公園	13:30~15:00
1月 25日(月)	臨海スポーツセンター	13:30~15:00
1月 30日(土)	袖ケ浦市民会館	13:30~15:00
1月 31日(日)	長浦公民館	13:30~15:00

（事件・事故等の発生や気象状況等により変更になる場合がありますので、詳細は木更津警察署地域課にお問い合わせください）
0438(22)0110(代表)

「安全で安心なまちづくり」にご協力をお願いします！

『あいさつ』は防犯の基本です。

犯罪者が犯罪をあきらめた理由の一つに「ジロジロ見られあいさつをされたから」というものがあります。日頃から地域の方々とあいさつを交わして住民との連帯感を高めておきましょう。

各支部の防犯指導員から一言　NO242

根形支部

昨年の台風被害からなんとか立ち直りそうな時にコロナ…で今年一年終わりそうです。それに伴い、詐欺行為が増えています。マスクの送り付け詐欺から始まり、インターネットでの買い物が増えている時には、「アカウントがロックされました個人情報を入力してください」。銀行に口座もないのに「銀行からのお知らせです」などと、手を変え品を変えではないですが、いろいろなメールが入ります。

全ての手続きがインターネットで出来ることが便利な世の中ですが、文面をしっかり見て、良いメールか悪いメールか判断をしていかないと、個人情報・家族情報・銀行口座・カード情報等々何でも標的になります。老いも若きもスマホの時代です。

しっかり自己防衛してください。

平岡支部

昨年は台風で大きな被害を被り、今年は年間を通して『コロナ』禍が続いております。詐欺被害も相変わらず多発しているようです。テレビも毎日見ますが、よくもまあ次から次へと新しい手口を考えるものだと感心します。対策についても一考してみました。

①常に言われていることですが「お金、キャッシュカードは他人に絶対に渡さない」を徹底してください。

②少しでもおかしいと思ったら、誰かに相談しましょう。

テレビ等によれば、加害者に多くの若者が関わっているようですが、彼らに犯罪に加担しない様何らかの働き掛けも必要だと思います。詐欺に遭わないようにするには、犯罪者と話をしない事が一番ですので、留守番電話にしておくことも対策の一つです。

中富支部

テレビを点けると必ず本日の新型コロナウィルスに感染された方の人数が目に入ります。いつまで続くか不安の毎日です。

感染予防をしっかりすることが自分の出来る対策法であると思っています。そんな中、私たち防犯指導員は十分な活動が出来ていないのが、「忍び込み」です。家人が寝静まった頃に家の中を物色され、たまたま夜中に起きたら泥棒と目が合ったと考えると「ゾッ」とします。物音等で目が覚めてもすぐには立ち上がらないで、静かにしていて絶対に自分で何とかしようなどと考えないで、犯人が立ち去るのを待ち、すぐ警察に電話をしましょう。

犯人はどんな凶器を持っているのかわかりませんから、まずは自分の身を一番に考えてください。

昭和支部

地域の絆で防犯に強い街づくりをしましょう。家庭や地域における犯罪の手口は日々変化しています。警察や市などから入手した情報を基に、家庭や地域内で情報を交換したり、予防策について話し合ったりし、日々の防犯意識を高めましょう。犯罪者は声をかけられたり、人に見られる事を嫌います。住民の目が行き届いたきれいな街は、犯罪が起きにくい安全で安心な環境を作ります。自分達の住むいむ街は、自分達で守るという意識のもと、防犯パトロールや子どもの見守り活動など、色々なボランティア活動が行われています。地域ぐるみで団結し、犯罪の発生しにくい雰囲気づくりをしましょう。子どもたちの登下校の時間にたくさんの大人の目を向ける事ができればと思います。

長浦支部

子どもを犯罪から守るには？

「行ってきまーす」と言って学校に向かい家を出る子どもたち、あまりにも日常的で当たり前の風景、夕方には「ただいま」と帰ってくる。それが当然だと思っています。でもそれは当たり前のことではなく、子どもを狙った犯罪のニュースを見ると、決して他人事ではありません。そんな中で、子どもたちを犯罪から守るためにどうしたらいいのか、皆で今出来る事を考えてみましょう。そして防犯の知識を身につけ子どもたちを守りましょう。子どもは大人が守るのが当然であり、どうしたら子どもたちを危険から守ることが出来るでしょうか。大人の行動が試されます。大切なのは親が危機感を持ち現状を知る事、また子どもをみて聞いて理解する事が必要ではないでしょうか。